

# がん化学療法指示書

登録番号 230

作成日 2019/1/9

レジメン名	CBDCA+PTX+Bmab+Atezolizumab
診療科・対象疾患	(呼)非扁平上皮非小細胞肺癌
投与間隔	3週間
投与サイクル数	4~6サイクル

## Chemo Navi

薬剤名	成分名	投与量	投与日
テセントリク	アテゾリズマブ	1200mg	day1
パクリタキセル	パクリタキセル	200mg/m2	day1
カルボプラチン	カルボプラチン	AUC=5(max6)	day1
ペバシズマブBS	ペバシズマブBS	15mg/kg	day1

	滴下順	抗がん剤	薬剤(成分名)	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール							
							day1						day21	
治療内容	注射	Rp1	生理食塩液	100ml	任意	ルート確保・フラッシュ用	●							
		Rp2	パロノセトロン(0.75mg)	1袋	15分	点滴静注メイン	●							
			デキサート(6.6mg)	1瓶										
			ファモチジン(20mg)	1瓶										
		Rp3	生理食塩液	250ml	60分※1	点滴静注メイン	●							
			癌 テセントリク(アテゾリズマブ)	1200mg										
		Rp4	生理食塩液	50ml	15分	点滴静注メイン	●							
						経過観察用								
		Rp5	生理食塩液	500ml	180分	点滴静注メイン	●							
			癌 パクリタキセル	200mg/m2										
		Rp6	生理食塩液	250ml	60分	点滴静注メイン	●							
			癌 カルボプラチン	AUC=5										
		Rp7	生理食塩液	100ml	90分※2	点滴静注メイン	●							
			癌 ペバシズマブBS	15mg/kg		総量100mLにする								
その他必要薬剤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レスタミンコーワ(10mg)5錠をルート確保前に内服</li> <li>・アプレビタント(125mg):1cap分1 ルートキープ時に内服(day1)</li> <li>・アプレビタント(80mg):1cap分1 朝食後に内服(day2,3)</li> </ul>													
総投与時間	初回:7時間、2回目(忍容性良好の場合):6時間、3回目以降(忍容性良好の場合):5時間30分													
血管外漏出リスク	テセントリク(アテゾリズマブ):不明 パクリタキセル:起壊死性抗がん剤 カルボプラチン:炎症性抗がん剤 ペバシズマブBS:非壊死性抗がん剤													
投与時の注意事項	パクリタキセルはアルコール過敏の有無を確認する テセントリク(アテゾリズマブ)、パクリタキセルはフィルター付きルート要 ※1...テセントリク(アテゾリズマブ)の投与速度 初回投与の忍容性が良好であれば2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる ※2...ペバシズマブBSの投与速度 初回投与の忍容性が良好であれば2回目の投与時間は60分、3回目以降は30分まで短縮できる													
備考欄	Infusion Reaction経験例では、次回より投与30分前に以下薬剤で前処置を行う。 レスタミンコーワ10mg 5錠 アセトアミノフェン300mg 2錠													